



流通科学大学国際交流施設

メリィホスピタル・メリィデイズ



ロイヤルホームセンター足立鹿浜店



第92期 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日



マツヤスーパー伊勢田店

株式会社 **イチケン**

証券コード: 1847

トップインタビュー

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第92期における営業のご報告にあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当期における建設業界を取り巻く環境は、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や企業収益の改善を背景に、首都圏を中心に公共投資や民間設備投資は堅調に推移しております。しかしながら、建設資材の価格上昇への対策、建設業就業者の減少に伴う次世代の担い手育成や生産性向上の取り組みが足元の課題となっており、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、従来から培ってきたコア事業である「商業施設」建築のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗等に加えてホテル、マンション、教育関連施設及び医療・介護施設の建設等の需要に対しても幅広く受注活動に取り組んでまいりました。

この結果、当期の売上高及び利益ともに業績予想を上回り、3期連続で過去最高益を更新することができました。また、収益拡大による財務体質の強化が実現しつつある状況を踏まえ、次の飛躍に向けた取り組みについても着実に展開してまいりました。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

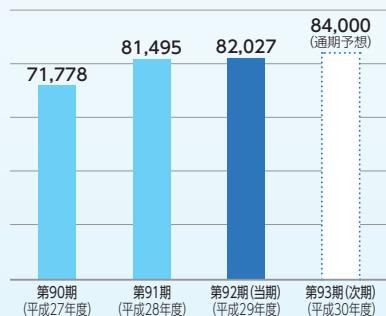


代表取締役社長
長谷川 博之

受注高 (単位：百万円)



売上高 (単位：百万円)



手持工事高 (単位：百万円)



Q 当期の決算のポイントについて教えてください。

A 過去最高益を3期連続で更新しました。

当期の業績につきましては、受注高は915億4千8百万円(前期比8.8%増)、売上高は820億2千7百万円(前期比0.7%増)、手持工事高は615億3千3百万円(前期比19.6%増)となりました。

損益は、完成工事高の増加や工事採算性の向上により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は49億2千7百万円(前期比13.1%増)、経常利益は49億5千1百万円(前期比15.8%増)となりました。

また、固定資産売却益2億4千9百万円を特別利益に、減損損失3億2千3百万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は35億5千5百万円(前期比16.6%増)となりました。

当期における財政状態は、資産合計が前期末に比べ54億4百万円増加し、546億3千7百万円となりました。主な要因は、営業活動によるキャッシュ・フローの資金増加に伴う現金預金の増125億3千4百万円です。

負債合計は、前期末に比べ20億5百万円増加し、373億7千1百万円となりました。

純資産合計は、前期末に比べ33億9千9百万円増加し、172億6千6百万円となりました。主な要因は、当期純利益の計上などに伴う利益剰余金の増32億2千9百万円です。

以上のとおり、売上高、各利益とも業績予想を上回る結果となり、3期連続で過去最高益を更新することができました。

営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



当期純利益 (単位: 百万円)



トップインタビュー

Q 中期経営計画の達成状況と今後の見通しについてお聞かせください。

A 重点施策の取り組みを通じて、当期の目標数値を達成し、次期には最終年度の目標数値を前倒しで達成見込みです。

当社は、第94期を最終年度とする中期経営計画を達成するため、「技術提案力の強化」、「採算性と生産性を重視した取り組みの強化」、「不動産事業の活性化」、「新規事業への取り組み」、「マネジメント力の向上」の5つの重点施策を掲げて、目標数値の達

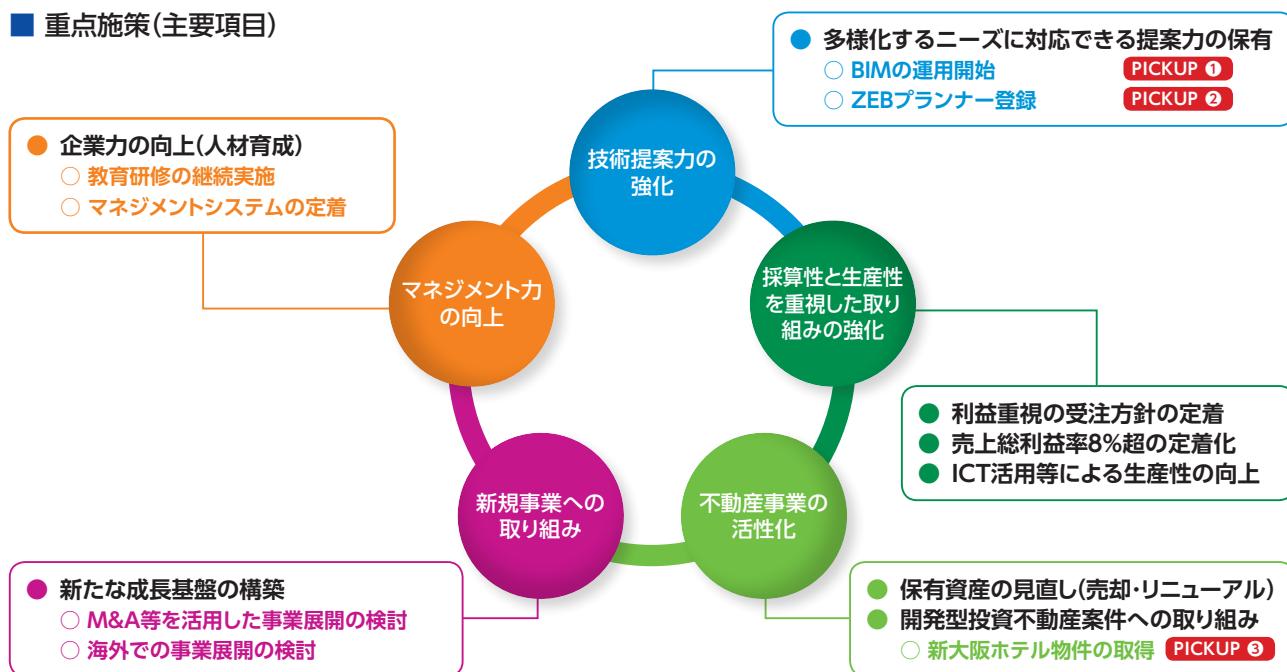
成に取り組んでおります。

当期におきましては、建設事業における採算性と生産性を重視した取り組みの一環としての利益重視の受注方針が定着したことなどにより、目標としていた売上高820億円、営業利益37億円、経常利益36億円をいずれも上回る結果となりました。

また、中期経営計画の最終年度の目標数値であります売上高840億円、営業利益37億5千万円、経常利益36億5千万円を1年前倒しで次期(第93期)に達成できる見込みであります。

なお、その他の重点施策につきましても、計画に沿って実施しておりますので、その一例を下図及び次頁にてご紹介いたします。

重点施策(主要項目)



PICKUP ① BIM^(※)の本格運用を開始します

平成28年度より、設計や現場の生産性の効率化やお客様により伝わるプレゼンテーションを可能にすることを目的に、BIMに対する設備投資や教育を行ってまいりましたが、平成31年4月よりBIMの本格運用が開始できる環境が整いました。

※「BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)」とは、コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、維持管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建物の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で活用できるソリューションであり、顧客との立体的な設計イメージの共有や建物完成後の効率的な維持管理等に寄与する画期的なツール



PICKUP ② ZEB^(※)プランナー登録が完了しました

省エネ設計に関するお客様の多様なニーズに対応するため、「ZEBプランナー」登録を行いました。「環境に配慮し将来を見据えたZEB化店舗創り」のご提案を通じて、お客様のニーズにお応えします。

※「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」とは、効果的な採光などの工夫を用いた建築計画により大幅な省エネを実現し、太陽光発電等によって創られるエネルギーと併せることで、最終的な消費エネルギー量ゼロを目指す建築物

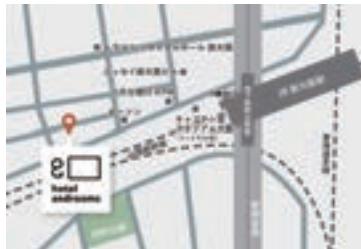


PICKUP ③ 新大阪ホテル物件を取得します

不動産事業の業容拡大を目的に、新大阪において当社が施工したホテルを平成30年7月下旬を目処に取得します。

【物件概要】

施設名：ホテル・アンドルームス新大阪
所在地：大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目4-30
敷地面積：861.35㎡ (260.56坪)
総客室数：120室
総投資額：約25億円
開業予定日：平成30年10月1日



イチケンが創造する豊かで快適な『暮らし空間』

医療・福祉施設



メリィホスピタル・
メリィデイズ
(広島県広島市)

竣 工	平成30年2月
構 造	RC造 10階建
延床面積	21,329㎡

商業施設

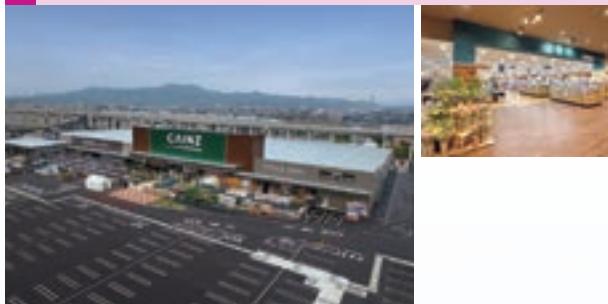


マツヤスーパー伊勢田店
(京都府宇治市)

竣 工	平成29年10月
構 造	S造 2階建
延床面積	7,094㎡

の一部をご紹介します。

商業施設



カインズ熊本宇土店
(熊本県宇土市)

竣工 平成29年10月
構造 S造 1階建
延床面積 9,733㎡

教育施設



流通科学大学国際交流施設
(兵庫県神戸市)

※提供：流通科学大学

竣工 平成30年1月
構造 RC造 3階建
延床面積 7,779㎡

商業施設



**ロイヤルホームセンター
足立鹿浜店**
(東京都足立区)

竣工 平成30年3月
構造 S造 2階建
延床面積 12,124㎡

マンション



ブランズ明石町
(東京都中央区)

竣工 平成29年5月
構造 RC造 12階建
延床面積 5,156㎡



ブランズ円山北6条
(北海道札幌市)

竣工 平成30年2月
構造 RC造 13階建
延床面積 7,097㎡

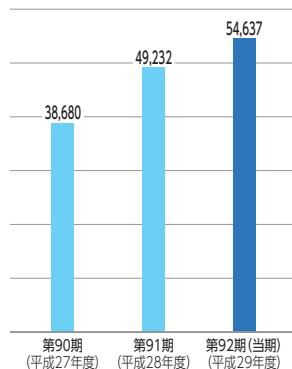
財務情報(要約)

貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	50,841	44,874
固定資産	3,796	4,358
有形固定資産	1,012	1,786
無形固定資産	204	178
投資その他の資産	2,579	2,393
資産合計 ポイント①	54,637	49,232
負債の部		
流動負債	33,859	31,880
固定負債	3,512	3,485
負債合計 ポイント②	37,371	35,365
純資産の部		
株主資本	16,687	13,461
資本金	4,321	4,321
資本剰余金	206	206
利益剰余金	12,183	8,954
自己株式	△24	△21
評価・換算差額等	540	369
新株予約権	38	35
純資産合計 ポイント③	17,266	13,866
負債純資産合計	54,637	49,232

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

総資産 (単位:百万円)



純資産/1株当たり純資産



※ 第90期の期首に株式併合が行われたと仮定し、上記の1株当たり純資産の額を記載しております。

ポイント① 資産合計

資産合計は前期末に比べ54億4百万円増加し、546億3千7百万円となりました。主な内容は、現金預金が125億3千4百万円増加した一方、受取手形が44億6千4百万円減少したことであります。

ポイント② 負債合計

負債合計は前期末に比べ20億5百万円増加し、373億7千1百万円となりました。主な内容は、工事未払金・未払消費税等が38億8千3百万円増加した一方、支払手形が21億5千4百万円減少したことであります。

ポイント③ 純資産合計

純資産合計は前期末に比べ33億9千9百万円増加し、172億6千6百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当により3億2千6百万円減少したものの、当期において当期純利益を35億5千5百万円獲得したため、32億2千9百万円増加したことであります。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高	82,027	81,495
売上原価	74,684	74,668
売上総利益	7,342	6,827
販売費及び一般管理費	2,415	2,471
営業利益 ポイント④	4,927	4,355
営業外収益	78	30
営業外費用	54	109
経常利益 ポイント⑤	4,951	4,276
特別利益	253	100
特別損失	326	4
税引前当期純利益	4,878	4,371
法人税、住民税及び事業税	1,258	1,447
法人税等調整額	65	△123
当期純利益 ポイント⑥	3,555	3,048

キャッシュ・フロー計算書

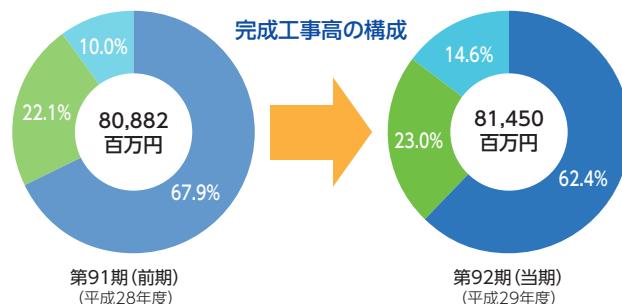
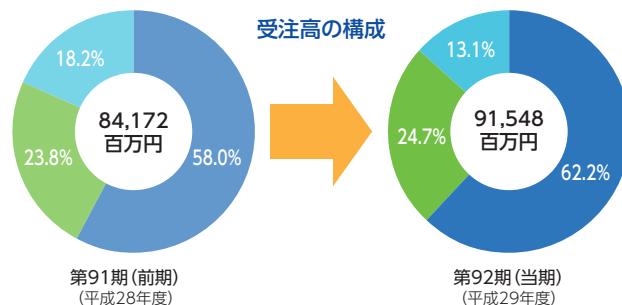
(単位:百万円)

表示区分	当期	前期
	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,299	1,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	570	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△345
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	12,534	1,209
現金及び現金同等物の期首残高	9,058	7,849
現金及び現金同等物の期末残高	21,593	9,058

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

建設事業の概況

■商業施設 ■住宅 ■その他

**ポイント④ 営業利益**

完成工事高の増加や工事採算性の向上により、営業利益は前期比13.1%増の49億2千7百万円となりました。

ポイント⑤ 経常利益

完成工事高の増加に伴う営業利益の増加等により、経常利益は前期比15.8%増の49億5千1百万円となりました。

ポイント⑥ 当期純利益

固定資産売却益2億4千9百万円を特別利益に、減損損失3億2千3百万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は前期比16.6%増の35億5千5百万円となりました。

会社概要

(平成30年3月31日現在)

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億2,167万2,065円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	615名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

役員

(平成30年6月27日現在)

取締役および監査役

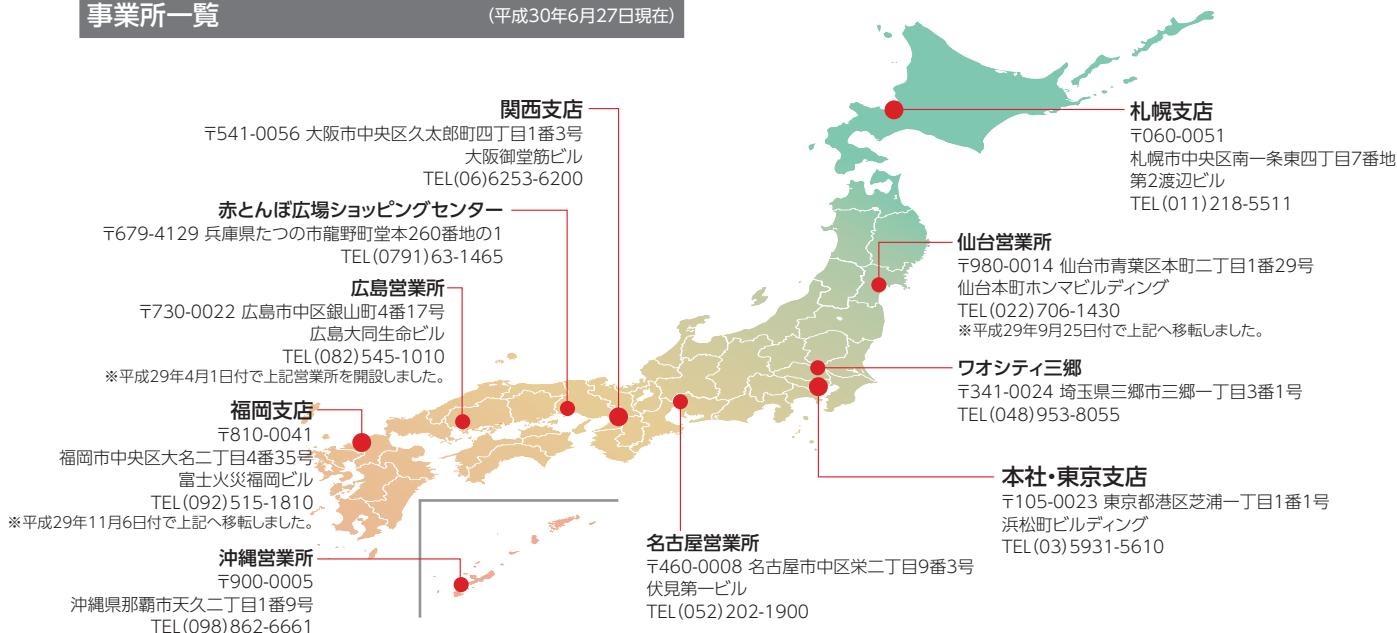
代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	伊知地 俊人
取締役	古川 仁一	常勤監査役	渡辺 直之
取締役	吉田 稔	監査役(社外)	西村 正明
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	吉識 至孝
取締役(社外)	藤田 進	監査役(社外)	小川 真人
取締役(社外)	武内 秀明		

執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	野崎 晃
専務執行役員	古川 仁一	執行役員	磯野 慶治
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	濱野 明
常務執行役員	西出 英雄	執行役員	奥田 育久
常務執行役員	佐々 英昭	執行役員	田中 実
常務執行役員	湯ノ口 智治	執行役員	中村 晃

事業所一覧

(平成30年6月27日現在)



(平成30年3月31日現在)

株式の状況

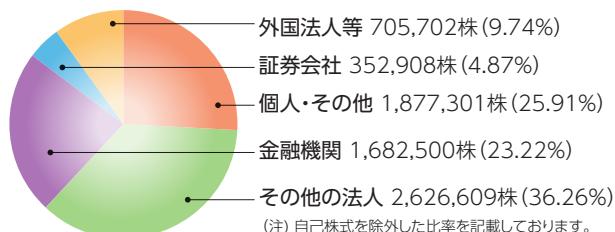
発行可能株式総数	22,240,000株
発行済株式の総数 (自己株式23,380株を含む)	7,268,400株
株主数	3,075名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	2,342,800	32.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	698,100	9.63
株式会社 三井住友銀行	199,200	2.74
立花証券株式会社	185,700	2.56
全国一栄会持株会	152,900	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	148,100	2.04
上田八木短資株式会社	121,700	1.67
株式会社 三菱東京UFJ銀行	118,400	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	77,600	1.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	77,000	1.06

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 2. 持株比率は、各株主の持株数の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 3. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会です。

所有者別株式分布の状況



株式併合について

当社は、平成29年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合(5株を1株に併合)を実施いたしました。

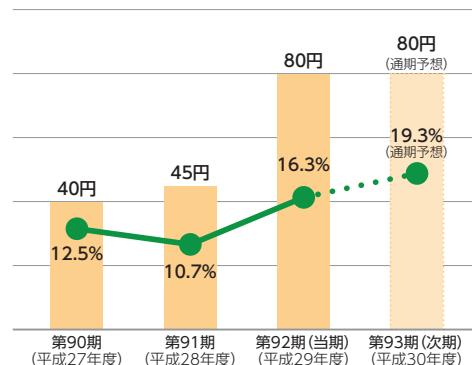
● 株主還元の様況

当期の期末配当金は、前期より35円増配し、1株当たり80円とさせていただきます。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

当期の期末配当金は、上記の基本方針に基づき、前期より35円増配し、1株当たり80円とさせていただきます。次期(第93期)の期末配当につきましても1株当たり80円を予想しております。

1株当たり配当金と配当性向の推移



※ 第90期の期首に株式併合が行われたと仮定し、上記の配当金の額を記載しております。

当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	配当金受領株主確定日	毎年3月31日 なお中間配当を実施する場合の株主確定日は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先 ^(注)	東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) http://www.ichiken.co.jp 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。	

(注) 株主名簿管理人の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

お知らせ

▶ 株式に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

2. 特別口座に株式をお持ちの株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 **イチケン**

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング
電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

